

令和5年度 第4回西伊豆町立文教施設等整備委員会会議録

- 1 日 時 令和6年2月8日(木) 19:00～
- 2 場 所 西伊豆町中央公民館(安良里) 3階多目的ホール
- 3 出席者  
委 員 高井廣、生田繁善、藤井文憲、浅賀丈吉、窪田いづみ、  
花田麻莉子、中平阿美、山本諭、島田桂吾、金刺和子、  
藤井節子、藤井定男、山本久美子、齋藤雅子、山本美生、  
渡邊篤之  
オブザーバー 山本憶久、鈴木ゆきみ  
町当局 鈴木教育長、朝倉事務局長、山本みち代、萩原宏実

事務局長：すいません、それでは定刻になりましたので第4回の文教整備委員会を開催したいと思います。開催の前に今回、開催通知が大変遅くなって申し訳ございませんでした。次回から気を付けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。それから、今日は土屋校長が欠席ということで、両園長につきましては出張中のごさいますて遅刻して参加するというので伺っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、早速ですがお手元の次第に沿って進めて参りたいと思います。まず初めに委員長挨拶ということで委員長から御挨拶をお願いいたします。

委員長：皆さんこんばんは。遅い時間にお集まりいただきましてありがとうございます。第4回の委員会ということでいよいよこども園の候補地について、絞り込みの作業の方に入って行きたいなと思います。この後、御説明があるかと思いますがこの1ヶ月の間で色々事務局の方に聞いていただいて、具体的にここに作るとしたらどんなイメージになるかなというところを情報やこれまでの事業説明をいただきますので、改めてそれを聞いた中でイメージを掴んでいただければなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長：ありがとうございました。続きまして、教育長から挨拶を申し上げます。

教育長：皆さんこんばんは。今日は寒くなって来て大変なところお集まりいただき、ありがとうございます。また週末の方に近づいて来て体の方も疲れて来ているんじゃないかなと思いますけど、今夜はまた皆さんに丁寧な審議をしていただけるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

事務局長：ありがとうございました。

続きまして次第の4の議題の方に入ります。進行につきましては委員会規則の規定によりまして委員長に議会の進行をお願いいたします。よろしくをお願いします。

委員長：それでは、よろしくをお願いします。

まず議題(1)候補地選定方法についてということですが、本日お配りいたしました資料1から6まであるかなと思います。これについてこの間ですね、事務局の方で情報収集していただきましたので改めてその情報をお伝えいただくと共に候補地について、また皆様の方から御質問や御意見をいただきながら、この候補地の中からどの候補地を選んで行くかと、その選定のプロセスに入って行きたいなと思います。それでは、まず事務局の方から候補地について進捗状況について教えていただければと思います。お願いいたします。

事務局長：候補地の方からいくつか委員長の方から宿題をいただきまして、そちらを渡って来た結果について報告をしたいと思います。まず中田避難地の方ですが、そもそもとして土地が譲っていただけのかっていう意向を確認していただけるかということで所有者さんの方に当たって参りました。概ねはOKなのですが、1つ中田避難地の田子側と言いますか一番下側にありますが、そこについては1月1日の能登半島の地震等を踏まえた中でちょっとそういった浸水区域外の土地っていうのを確保しておきたいなというお考えをお持ちだということで、今、すぐにそこを売買というのはそういうつもりは無いというような意向が1人ありました。それから当たった中で、今、所有者様が入院されているということで奥様に話をして来たんですけども、それも話して意向を確認して欲しいということでちょっと今、まだ返事はいただけてない状態ですが、いずれは手放してもというようなことでしたので、あまり上手くないというニュアンスではなかったかなというふうに思います。今ちょっと係長の方が航空写真的なものを準備していますので後ほど具体的にどこの場所がダメなのかというのを図上で説明させていただければと思います。それから田子小学校ですが、2月2日の日に委員長と静岡県の教育施設課の技監、一級建築士をお持ちの方なんですけれどもその方に来ていただきまして、今の田子小学校の施設の状態と言いますかそういったものをちょっと見ていただきました。感想としましては、建物の躯体というものはまだまだ使えるというような感触だったというふうに私は捉えています。西部とか中部の方の学校に比べたら全然まだ綺麗な状態ということでございました。中の学校のパーテーションとかそういうのは簡単に取れて

改修は出来るので改修というのは可能であろうと、ただし給水・排水設備ですね。水道と排水、トイレとかそういった所については完全に改修が必要だろうというような見解を示されていたという状況でございます。それから旧洋ランセンターにつきましては、時間もちょっと決まっていた中でここは御覧になっていただくことは出来ませんでしたけども。次にらんの里駐車場跡地ですね。こちらは所有者さんから用地を購入することが出来るかという意向確認をしてくれということでそちらも接触させていただきましたが、やっぱりなかなか厳しいと代替地を用意してくれるのであればというような考え方でしたので、なかなか堂ヶ島に代替地っていうのは厳しいと思いますのでなかなか用地確保っていうのは難しいのかなという感覚を持ちました。それから旧西伊豆中学校の跡地ですね。こちらにつきましても、町の中心地ということで候補地の1つにはなりうりますけどという話だったかと思います。ただですね、当初盛土をする計画でした。これで約、盛土と造成だけで6億5千万円ぐらい概算経費だったというふうに伝えたかと思いますがそうではなくて高床式ですね、1階部分をピロティ形式、イメージとするとマックスバリュさんの地下駐車場じゃないですけど1階部分は使わないで水が流れるという状況でそういう建物にして浸水区域を免れる高さを2階から作れば良いんじゃないのっていうようなことのアドバイスはいただいたと。盛土するよりはそういった工法の方が明らかに安いでしょうという提案はいただきました。その中で園庭部分をなかなか上というのは難しいかも知れませんが屋上部分にそういったスペースを設けるとか、都会とかに行きますとそういったスペースがあるかと思いますが、そういったことも考えられるのではないかという提案はいただいたところでございます。先川地区ですね。ここににつきましては、今、産業建設課の農林水産係の方で農業地域計画というのを策定に向けて認定農業者さんであったりとか、農地の最適化推進委員さん、賀茂農林事務所、農地バンク静岡などの方で協議する場を設けているということでございます。農業地域計画というのは、農業者とか地域住民と話し合っただけで地域の農地利用の将来像というのを明確化した計画ということなんです。概ね10年後を見据えて誰がどのように農地を使って農業を進めて行くのかということを経営で話し合っただけで決めて行く計画ということだそうなんです。これを令和7年度に策定したいということで今そういった協議の場を設けている。そういった中で中地区につきましては、農業者の方々がハウス栽培をまとめてやったらどうかとかですね、現在の旧西伊豆中学校に向けて農地の中に仮設道路を入

れてありますけれども、その仮設道路から更に横に農道を作って農業振興して行ったらどうかとかという、農業に対しての推進する意見が大きいというようなことを聞き取ったというところで、なかなかその地域計画というのは結局は青地の設定というのを見直して、ここを農業振興として行きますよという町の方針になるという計画でございまして、そういった中でそれが設定されてしまうとそれを除外して行くというのはなかなか難しいという見解なのかなというニュアンスを受けております。ここの部分ですね。ここの下の土地ですね、上側のこの茶色い部分ですね。ここの土地の方がちょっと今はこの土地は確保しておきたいということでございました。ここの広い土地の方、この広い土地とここの土地が所有者さん同じ方なんですけど、ちょっと旦那様が入院されているということで意向はまだちょっとその時にはいただけませんでしたけれども、後ろ向きな感情では無かったかなと思います。こちら側ですね、この上の部分とこの畑の部分についてはそういうことであれば協力はしますよという回答をいただきました。こちらの田んぼの方も協力しますよというかたちでした。ここの地権者様はまた違うんですけど、ここですね、ちょっと娘さんたちと今後の財産のことについて話し合っただけで返事をさせてくださいという回答でしたので、今現在は回答はいただけてないという状況です。面積的に考えますとやはりここは大きいんですけども、こちら側の面積で約2,000平米ぐらいは確保出来ます。こちらでも1,600平米ぐらいは確保出来ます。ということで、ここも技監に見ていただいたわけですが平屋で建てるとか建物の構造ですね、若干ちょっと3階建てとかにするそういった工夫をして行けばあまりその敷地面積にこだわるといった概念は無しにしても良いんじゃないですかねという話もありました。敷地の中で例えば3階建てとかにしたとしても敷地の中にその日陰部分を残していけるような設計にしたなら別に使える土地なんじゃないでしょうかねというような感覚をお持ちのような感じでした。先ほどの高床式ということがですね、これは津波避難対策じゃないですけども水害ですね、水害を受けた後に水害対策として1階などを嵩上げた学校施設でございまして。こういった候補というの也被考えられるのではないかなというような御提案でした。ここの工事の総工費というのは、校舎で約8,400平方メートルの建物になっているわけですけども、そのうちにこの高床式に要した費用というのは総工事費の約2割程度というようなこととございまして。参考までに御紹介させていただきました。それから先ほど旧西伊豆中ですか、浸水区域内とかにもし建てるということであれば1階部分を先ほどの高床式

にした上で屋上の方にこういった子どもが遊べるスペースとかということも考えられるのではないかというようなこともおっしゃっていました。私の方からは以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。候補地1から6まで本当に〇〇〇〇進捗はなかったんですけれどもそれ以外の所について〇〇ですね、地権者の方との交渉ですとか専門家の方の見解ですね、〇〇・・・ご意見いただいたところになります。まず今の御説明についてさらに聞きたいこととか御質問、あるいは御意見・御感想等あれば出していただきたいと思いますが如何でしょうか。どの候補地からでも構いません。候補地ごとに行った方が良いですか。じゃあ候補地ごとに行きましょうか。候補地1番の中田避難地（安良里地区）について何か確認したいことや御質問がございましたら出していただきたいと思いますが如何でしょうか。前回、この候補地は用地取得がですね、どこまで上手く行くのかという御提案で今、地権者の方に確認したところ全部ではないけれども一定程度の面積というのは確保が出来そうだ。南側が1,650平方メートル、北側が2,000平方メートル。ただ通常の平屋で考えると5,000平方メートルを想定するとやや手狭になる。ただその対策として、例えば2階建て3階建てにしたりですとか園庭を屋上に設けるなどの工夫などをすることが出来れば、それが出来なくはないかなということですね。それが3番の教育環境にとって良いかどうかについてはまた皆さんの御判断かなと思いますが。なんとなくイメージは湧いたのでしょうか。じゃあまた何かあれば伺うという感じで。

続いてじゃあ候補地2の田子小学校についてですね、こちらについて確認したいことや御質問がございましたら出していただきたいと思いますが、如何でしょうか。これあれでしたっけ、給水のやつで金出したんでしたっけ。こちら補足をお願いします。

山本係長：田子小学校につきまして、一部補足させていただきます。田子小学校につきましては本年度、役場の別の課が見積徴収をしたところがありますのでそれに伴った経費というところで説明させていただきます。田子小学校の水道の配管ですね、ちょっと水道配管がだいぶもうもろくなって来ているということがございましたので、水道の配管を改修した工事を行った場合、こちらで消費税抜きで1,200万円ほど。ですので消費税合わせますと1,400万円ほどになろうかなというふうに見ております。それプラス、高架水槽こちらがちょっと今ひび割れがあるのではないかと言われておりますのでこちらの330万円の経費がかかると言われておりますので、水道関連のみで全部で1,700万円

ほど経費がかかるというような見立てになったと思います。併せましてトイレの改修につきましては、若干こちらの手元にあります見積りと認定こども園にした場合ですと様相が変わって来ますけれども大人のトイレとして今のトイレを一部大便器2つ、小便器を3台、女子トイレの大便器を3つ改修した場合ということで全部でこちらは850万円ほど約900万円弱のものとなっております。こちらにつきましては先ほども申しました通り大人用となっておりますのでこれを子どもサイズにするとした場合には数をもうちょっと増やさなければならぬということがあると思いますので、そうなった場合にはさらに経費がかかって来るといふふうに思います。高さを変更するですとかですね、子どもですと全部を洋式にするということも必要になって来るとかと思っておりますので、個数も増やさなければならぬということもあると思いますので〇〇〇〇は必要になって来るかなというふうに思います。これはあくまでも水道系、トイレの改修と水道配管の工事、水道を給水するための工事のみの予算、見積りということになりますのでよろしく願いいたします。

委員長：ありがとうございます。今のところも含めて田子小学校について確認したい事項はありますでしょうか。

委員：すいません、お願いします。先ほど、外部の方に来ていただいて御意見を伺ったということですが、この今ある校舎はまだ西部とかの方に比べるとまだ状態が良いというお話でしたけど、それを先ほど今言ったトイレとか水道関係を改修すれば認定こども園として、今のなんか使えるって判断で良いんでしょうかね。建て替えなくてもなんとかこども園としてやって行けるといふような状態で見解が良いですか。

委員長：その辺、どういう見解だったちょっとお願いします。

事務局長：先ほども申しましたけども、給排水設備の改修というのは必須だろうということです。あとは当然学校とこども園って様相が違いますので中身の改修というのが出て来るので、先ほど係長から申し上げた金額だけでは行かないと思います。中身をどういふふうにするのかによって金額というのも上がったり下がったりというのはありますので、改修の内容によって金額というのは変わって来ると、それでは当然設計をしてみなければ分からない話ではありますけれども、躯体自体はなんとか大丈夫でしょうと。ただ屋根の防水とかですね、屋上の防水とか外壁の改修とか吹付けのやり直しとかそういったものというのは当然必要になって来るといふことですのでございますので、改修をするとなればそういった経費、ただ校舎全体の部分まで必要はないと思

ますから、校舎のどっち側をどういうふうに改修しようかということはあるかと思います。ただ改修の方法によっては改修の方が絶対安いってということではなく、建て替えた方が安いパターンもあるので一概には何とも言えないというような見解だったかと思います。

委員長：よろしいでしょうか。私も回りましたけれども、結構良い素材を使っているのを見た目の以上よりは十分まだ耐えられるなというところと階段が比較的小さいのでわざわざこの場合は階段を作り直すとかそういう必要は無いかなというところですか。パーテーションも教室もパッと外せる仕組みになっていたの、なんか例えば保育室を面積を広くしたければ2,3クラス、ポーンと外して作ることが出来るかなという、あの構造上ですね。あと廊下が結構広め、普通のって言ったらあれですけど静岡市とかの学校より廊下が随分広く作ってあるので、あれで西伊豆は普通なんですかね、結構びっくりしたんですけど。ということでそういった意味では色々改修はしやすいかなとは思いますが。ただその辺をどこまでこだわるかということと一方で土砂がね、あれが来ているので今は1階部分は使ってないということになっていて、そういったところをどうやって行こうかなというところですか。建物自体は全部活用が出来るかなというところですか。ただまた建て替えの話もありました。例えば、園庭の芝生の所とかに新しく作るっていう選択肢もあるよねっていう話はしていました。体育館はちょっと厳しいかなっていうような見解だなと思いました。他に如何でしょうか。

委員：ここの道路なんですけど、あそこは拡幅とかなんか容易ですかね。

委員長：道路のことについて如何でしょうか。

事務局長：田子の関連道の話ですよ。張り出しでやってあるのでなかなかあれを全面塞ぐっていうのはなかなか厳しいのかなというイメージを持ちます。完全に塞ぐのであれば、田子の農協さんの前の交差点、みたいにボックスカルバートで全面的に道路にするというような改修方法じゃないとあの橋を広げるとするのはなかなか厳しいのかなと。

委員：学校のその登り口。

事務局長：登り口の橋は広げたとしても民地が迫ってますので、登り口の左側の用地が売っていただければそういったことも可能かと思いますが、現状そのままとなると難しいかと思います。ただ聖和保育園さんとかの園児のバスありますよね、あのバスであれば今の幅員でも登って行けるというふうに事業者さんからはそういうふうに言われました。現地を見に行っていたんですけど。登って行ってプールがありますよね、それくらいの園児バスレベルであれば登って行って左に入っ

て行くことは可能だというふうには言っていました。プールをさらに壊してしまえば全然余裕で入れるというようなイメージです。

委員長：他に如何でしょうか。

委員：さっき、体育館はちょっと厳しいっていうのは体育館を園舎として再利用？改修するには厳しいっていう御意見だったんですか。

事務局長：じっくりと構造を見たわけでは無いですけど、基本的に鉄骨で出来上がっている。鉄骨が主の構造材になっているということで、外の鉄骨をちょっと触ったりとかしてたんですけど、かなり錆がありましてそれを改修して行くのにその今の鉄骨材の厚みが耐えられないんじゃないかなということ、あの体育館を改修というのは難しいんじゃないかなっていうイメージです。あれをもしあれするんだったら建替えになっちゃうんじゃないかなというそういう見解です。

委員：分かりました。

委員：ちょっと教えて欲しいんですけど、私ちょっとあまり田子小学校には行ったことないんですけど、校舎と裏山がすごく近くに接してる、接してますよね。1階は今は使わない状態にしたところでもし何かあった場合、2階より上は安全なんでしょうかね。これちょっと前回のこの青字の所に補強するより危険性がある。裏山から水が出ていたとか、いつ土砂崩れになってもおかしくないとか、土砂を止めるために校舎を残すのは変ではっていうのが前回の意見だったというふうに書いてあるんですけど、建物自体が使えたとしてもその周辺の何かあった場合にその校舎の中に園舎まで校舎の中に行って1階を使用しないことで安全を確保出来そうなんでしょうか。

委員長：法面の補強の話とかそういうことですかね。

事務局長：確実に安全かと言われると保証は出来ないんですけど、向かってグラウンドから向かって左側の校舎側ですね、その後ろには校舎を建てる時に擁壁、コンクリートの壁を補強してあるんですよ。そこから校舎の真ん中辺りからプール側に向かっては空の石積みとか昔の玉石を積んだ石積みが段々になっているとか、上には畑があるんですね。そこってのが、昔ですね今の校舎ではない時に裏山が崩れたという状況があったということです。ですので、近年に土砂がわぁーってなってるかっていうことではなく、そういう事案があったからたぶんその1、2階、今人数が少なくなったのでそういったリスクを解消するためにそういうふうになっているというふうに伺ってます。

委員長：他に如何でしょうか。じゃあ、また何かあればまた出していただいて、続いて候補地3の洋ランセンターですね、これについては特に進捗状況は変わらなかったんですが改めて確認したいことや伺いたこと



とがあれば出していただければと思います。如何でしょうか。

事務局長：もしですね、詳しく知りたいということであればですね、この29年の時に一番最初そこにこども園と小学校という話で調査をした報告書がありますので、この場で口頭で説明するというのがなかなか難しいものですから、もし知りたいということであればお見せしますので言っていただければと思います。

委員：見に行った時にこの上じゃなくって下に結構広い所があって、この前もなんかお話の時に下はなんか地盤的に大丈夫のような話も出てたんで、その辺がどうなのかなとちょっと思ったんですけど。

委員長：上じゃなくて下に下った方を？

委員：下ってこっちから見ると道路から見ると左側の結構広い。

委員長：その辺り、当局としては如何でしょうか。

事務局長：下の段のすいませんちょっと面積というのを把握出来ておりませんが、下の段と上の段の間にコンクリートの擁壁がまたあると思うんですけども、そこも今の基準を満たしてないということでクラックが入ったりとかしているということでそこに対しての安全性というのは担保されないのかなというような報告内容になっています。それからその左側ですね、見ていただいた登って行って左側の土地と下の段、その延長先、上の延長先には治山ダムがあります。そこを大雨が降るとですね、必ず水が出て来て土砂が流出するというような状況で、前の昔の洋ランさんが整備したんだと思うんですけど水路というのでも埋まっちゃっている状況でございます。昔ですね、何年か分からないですけどそこから流出した土砂が国道136号に流出してそれが下の町道に行って寸断したってということがありますので、左側を使うのであれば、そういった水の対策っていうのはちょっと必要なのかなというイメージは持っています。それから今ヘリポートとして使っているんですね。

委員長：ということで、ちょっと下でやっても色んなリスクが残されてるよってということで理解していただければと思います。他に如何でしょうか。

では、候補地4のらんの里駐車場跡になります。これについては地権者の方に確認したところ、ちょっと土地の買収は難しいよということと、もしその場合は堂ヶ島の同地域の中で同等レベルの面積を確保することという条件が出されたということでした。如何でしょうか。候補地4のところで前回の疑問や課題のところで土地の確保が困難ではないかと用地買収の可能性がないなら除外すべきと御意見をいただいておりますが、少なくとも土地の確保が難しいということは改めて確認出来たかなと思います。これについて、候

補地に残すかどうかということについてはちょっと一周した後で皆さんにお伺いしたいなと思います。何かそれ以外に確認したいことはありますでしょうか。

では、候補地5の旧西伊豆中学校跡地についてです。こちらについては少し前回の時には盛土というかたちで津波浸水対策として行くというところで準備はしていたですけれども、今日イメージ図がありましたように一階をピロティにすることによって盛土よりも安く、また自然環境に配慮したかたちというのが新たに提案されたかなと思います。そこも含めて改めて確認したいことやお伺いしたいことがあれば出していただきたいと思いますが、如何でしょうか。前回の疑問点や課題は2のところ建てられない場所なら候補地から外してほしいということがありましたけれども建てられない場所ではないということは確認されたかなということと、津波に対応する代替案ということも工夫すれば可能かなというところにはなるのかなと思います。よろしいでしょうか。

では候補地6の先川地区についてです。そこについては直近の一番の候補地ではあったんですけれども、やっぱり青地というところが1つ課題になっていました。それについて色んな動き等情報提供がありましたけど、少なくともこの検討が始まるのは令和7年頃以降。それによって実際それがこども園用地で使えるかどうかというのは農業振興という観点と結論を待たないと判断は難しい状況ということが言えるかなと思います。そういった意味で前回の課題のところ土地利用のところ土地の確保が困難ではないかというところについては少なくとも早急に土地を確保するというところは困難であるということが言わざるを得ないかなという状況かなと思います。その点について如何でしょうか。はい、ありがとうございます。では、一通りお話伺ったところでここですね、候補地について判断するにあたって除外をしても良いのではないかとこのところを皆さんで審議をして行ければなと思います。前回、御意見としていただいた6候補地の4のらんの里駐車場跡地と候補地6の先川地区、いずれも土地の買収が困難な場合は適応から外すべきではないかということでした。今回いずれも土地の確保というのは早急には困難であるということが改めて確認された状況です。そこも含めてやはり6候補地で判定して行くのか、あるいはこの2つについてはこの時点で外して行くかこれについては皆さんに意見をお伺いした上で討議したいなと思いますが、この2つについて除外するというところについて如何でしょうか。もしやはり候補として残しておきたいとい

う方が一人でもいるなら残しておこうかなと思いますけれども。もし2つ外しても良いよということであればそれを外してですね、賛成ということであれば2つについては除外しようかなと思いますけど如何でしょうか。

委員：除外してください。

委員長：よろしいでしょうか。では、今、皆さんの同意をいただいたということで候補地4のらの里駐車場跡地と6の先川地区についてはこの検討会における候補地からは除外するという事で同意いただけますでしょうか。ありがとうございます。では、同意いただいたということで候補地1の中田避難地付近と候補地2の田子小学校跡地、候補地3旧洋ランセンター跡地、4を飛ばして5の旧西伊豆中学校跡地これについて、ここから絞り込むということで進めさせていただきたいと思います。ありがとうございます。ではここですね、絞り込んでくにあたって前回お示しさせていただきました評価基準について、前回皆さんの思いを踏まえた上で少し修正点ございますのでそれについて御説明いただいたあと、評価基準の在り方についてまた皆さんの方から御意見をいただければなと思います。では、事務局の方から評価基準の変更点について御説明をお願いいたします。

山本係長：では、前回御覧いただきました評価基準につきまして少し修正を加えさせていただきましたので説明させていただきます。まず、項目名が一部違って来ているということがございますが1の防災の部分に前回は防災のみとなっておりますが今回は防犯も加えさせていただきます、防犯面に対して安全性は確保出来るかということで10点を配点させていただきます。また保育環境につきましては、前回はこちら少し細かく記載させていただきましたけれども、まとめて記載をさせていただきます保育環境に適した場所であるかで合わせて10点ということで配点させていただきます。またですね、アクセス面については、通園距離、通園しやすさへの配慮が出来るかということで5点を配点しております。続いて用地・建設につきましては、名前を変えさせていただきましたというかたち、項目名の視点を変えさせていただきましたということで事業費とさせていただきます。続いて移転についての短縮ですね、こちらにつきましては、工期というような前回は表現の仕方をさせていただきましたかと思いますが、造成、代替地整備、用地確保などを含めた移転時期の短縮が可能か、つまり全体的に移転をするまでに短い期間で出来るかどうかということで判断いただこうかと思っております。こちらを含めまして全体で100点ということで配点をさせていただきます。

委員 長：これ、点数がちょっと違うと思うんですが。防犯のところは 10 で、防災と防犯を含めて 40 です。

山本係長：ごめんなさい、申し訳ありません。防災・防犯を含めて 40 です。全体 100 点は変わらないと思いますのでよろしくお願いします。以上になります。皆さん、この修正に関しまして御意見がありましたらよろしくお願いします。

委員 長：ありがとうございます。またこれにあたってちょっと保育園のことも園の方で少し保護者の皆様に特にどんなところを重点にしたいかということアンケートとっていただきましたので、もしよろしければ園長の方から簡単に御説明いただければと思います。

齋藤園長：こども園の保護者の方にアンケートをとらせていただいた結果になります。仁科認定こども園、伊豆海認定こども園共に保護者の方は津波・水害・土砂災害などの安全性というところを 1 位に重要というところで回答の方をいただいております。それから 2 番目に重要というところなんですけれども、そこにつきましては防犯の方を重要にしてほしいというところが 2 位です。3 位につきましては、保育環境やアクセスというところが入って来ております。以上になります。

委員 長：はい、ありがとうございます。その保護者の皆さんの意見を少し反映させるようなかたちで防災・防犯をちょっと合わせましたけどこれで 40 点。

山本園長：伊豆海認定こども園です。伊豆海認定こども園の方もですね、伊豆海認定こども園の方は 28 人中回答率 100% だったんですけれども、第 1 番目に重要と思われる項目については、津波・水害・土砂災害などの安全性ということで出ております。そして 2 番目に重要と思われる項目についてなんです、伊豆海の方は保育・教育環境が第 2 番目に上がっております。そして第 3 番目に重要と思われる項目についてなんです、ここも同等で保育と教育環境そしてアクセス、通園バスについてが第 3 番目に重要と上がっております。以上です。

委員 長：はい、ありがとうございます。両こども園ですね、保護者の皆様にアンケートをとっていただいた結果ということでした。いずれも防災、防犯の方が非常に高く保育環境、アクセスというところが上位に出て来たということでした。一応それを加味したかたちで少し配点の方が防災の方が 40 点、保育環境が 10 点、アクセスが 15 点で土地利用・地域性が 10 点でその他が 5 点というかたちになっているかなと思います。もしもうちよっこの点数上げた方が良いとかこんな項目を入れてほしいというような御意見があれば出していただきたいなと思います。如何でしょうか。

事務局長：先ほどの説明で申し訳ありません、漏れておりましたが、4番土地の整備面積ですけれども先ほど来の説明にですね、嵩上げで屋上を使うであるとか建物の高さを2階とかにするとかということの提案をさせていただいておりますので、こちらの必要最低平場面積5,000平米程度というところ、ちょっと5,000平米程度というところをですね削除するか、あるいはちょっと面積を変更させていただきたいなというふうに思っておりますが、如何でしょうか。

委員長：今のところ、土地の所ですね。特に安良里地区とかを想定した場合に5,000平米平場では難しいんだけど2階3階建てにすることによって対応が出来るということもありますので、それでその5,000平米程度というところを削除するか面積を変更するかというのが今の事務局の方からの提案でした。これも含めて如何でしょうか。確認したいことや御意見、何かあれば出していただければと思います。

委員：今、両園からのこども園の方からの話があったんですけど、防犯というのはどういう意味の防犯。

齋藤園長：不審者等の侵入とかそういうことだと思います。不審者。そういったところの確保は出来るかというところを仁科の方ですけど2番目に多い状況でした。

委員：これ大っぴらにはなっていないですけど下田警察署の方は仁科地区の駐在所が今、全部ありますよね。これ1カ所にするって言うてるんですよ。その意見を聴収している。だから駐在所は松崎町と西伊豆町で2つ以内にしたいと、なんかそういう話がね出てるようでした、ちなみに。

委員長：ありがとうございます。貴重な情報でした。恐らくこの防犯のところは不審者対応で出てたところですけども、例えば人が多い所とか観光客が多い所なんかだとそういったよその人が入って来るんじゃないかっていう懸念と、一方で人气が少なすぎるとそれはそれで心配だというその両方の面がたぶん保護者さんの方ではあるのかなと。そういうことで建物の中のセキュリティでどうかというよりも、その園の周りの環境として不審者への対応、今、副委員長から何かあった時も対応する駐在所とかあとは近くに大人が居るかどうかというところで判断していただくことにもなるのかなと思いますが。そんなイメージで良いですかね、防犯の面。他に如何でしょうか。

委員：この場所なんですけど、今、2つ削除してもらって除外してもらったんですけど、旧洋ランセンター跡地とかも今の話だとちょっと安全性が第一だっていう先生たちのアンケートの結果を基にしても、それが無くってもここも除外しても良いんじゃないかなって思うのと、ちょ

っとしつこいようですけどあくまでも最終的にはこれで決めないといけないんですかね、点数で。やっぱり絞って来た時こそ、話し合いで決めた方が良さそうな気が私はするんですけど。例えば、今、こう話し合ってる時に例えば■■■さんが今、これから駐在所が松崎と仁科と2つになるよとか、話し合ってる段階で時間をおいて行くと色々な情報がまた入って来たりとかするわけじゃないですか。そこで初めてこれで決めちゃった後にじゃあどうとかって、変更しようと思えば出来るのかも知れないんですけど、やっぱり色々な人が色んなところで情報を集めて来ると結果これだけでは決められないこととかも出て来るのかなど。ある程度、この前の先生の話でやっぱり子どもたちがその場に居て何も動かなくても、例えば落下物であったりそういう物から身を守れさえすれば津波の心配だったりとか土砂崩れの心配なく、そこで安全が確保出来ることが一番大事だっという前回の話からすると、なんかもう自ずとかなり場所的にはもう絶対的に絞られて来て当然なような気がするので、そこへ来て最後この点数で総合的に判断するっていうのは、すごい私たち私にとってはすごい難しいかなっていう感じがするんですけど。

委員長：ありがとうございます。

委員：高床で作るとか今さっきから出てるんですけど、さっき先生たちがおっしゃってる安全性のところで送り迎えは高床でない下でやったり、そういうことがもう日常であるわけですから高床が安全かっていうのは私はすごく疑問に思いました。

委員長：はい、ありがとうございます。まず1つ目については、洋ランセンターについてはまたこの後話したいと思います。点数については、別に点数にこだわる必要は無いかなと、ここで合意が取ればそれはそれで良いのかなと思いますけども、ただ1つはこれまで何回か議論して来て流れて来たというのがここが最終決定ではなくて、この後、色々な議会だったり色々なプロセスを得て、なぜここなのかっていうところをきちんとこのメンバー以外の人に説明して行く必要があるということと、例えば、今のところ■■■さんのお話のように高床にした場合にこれで安全だっと思う人といややっぱり不安だっという人がたぶん混在している感じもするのでそのあたりを議論の中でやっぱりこうだねということをお同意がとれれば良いですけど。それがこの議論に居なかった人たちも納得出来るようなかたちで示すことが出来れば、それで良いのかなというところで。ただこれ多数決で一番だからこれですよっていう反応だけはするつもりはなくて、中でもでも本当にそれで良いのかどうかというのを協議の中で議論して、1つだけ

ではなくて、もしこれがダメだった時の次点や3番目というかたちで残しておいた方がこれまでの議論でまた作り直しに戻さないためにも良いかなということで提案させていただいているということになります。

委員：細かいんですけど、私例えば事業費？用地取得費とか代替地・・・抑えられるかとか、これでも実際建てて建てる前、例えば安良里の中田避難所であれば、まずその土地がいくらでその土地を譲ってもらえるかどうかというところから始まって、その土地をじゃあいくらで買えるとか、今の時点ではまず私たちには分からないじゃないですか、当然。その建設費だったりとかそういうものもある程度その土地の購入が決まって、建てますよっていうその土地の、建物の設計が出来てからじゃなければ、その建設費だったり材料費だったりとかそういうことも分からないし、その死角が生じない見通しの良い地形であるかどうかというのは建物が建った状態で死角が生じないのか、今の時点で死角が生じないのかとか、細かいですか質問が。

委員長：そうなんです。なのでその細かいところが人によって変わって来るので、なのでなかなか難しいので、なので感覚で数字で付けてもらったもので説明するっていうのが1つの手かなと思ったんですが、ただそれも含めてここは分からないから判断が出来ないのでここから外すということが合意出来れば、それはそれで構わないかなと。なので正確に点数付けるのは無理なので、それこそ皆さんの町民としての感覚というのがそこをやっぱり大事にしていきたいなという、その感覚が僕は分からないのでたぶんその立場やそれぞれ状況によって特に津波の対策とか道路のところとか土砂のところリスクの捉え方や感覚っていうのは人によって違うので、それはメンバーだけじゃなくって町民全員違うのでそれをどのように説得でき、説明する。皆さんが今、課題としているのはこども園をいち早く安全な場所に作るというところは目的として決まっているので、そのために一番どこがベストは無いんだけどもベターかということを協議の中で絞られればそれが一番望ましいなと思います。決め方も含めてあくまでもぎっくばらんにもた皆さんの意見もお伺い出来ればなと思います。如何でしょうか。

委員：先ほど土地の広さのことが話になったと思うんですけど 5,000 平米というのですね。これは1階にした場合がこれの広さが必要ってことでしょうか。

事務局長：これはですね、先川地区に最初こども園をっていう中で計算していった広さになります。これっていうのは建物だけでなくて駐車場スペ

ースも込みのスペースを想定した広さになっています。ですので駐車場スペースが若干狭くなるとか園庭が狭くなるとかそういったことは考えれば、その5,000平米というのにこだわる必要は無いのかなとは思いますが、ただあまりにも少ない面積ですとじゃあ別途駐車場を用意しなきゃいけないねとかいう話にはなってるのかなというふうに思います。

委員：じゃあ、先ほど出た話で5,000平米程度っていうのは外しても良いんじゃないですか言葉から。建物は2階になるか3階になるかによっても違って来るし、田子小学校とか芝生があるから環境が良いのか、それは芝生なんてのは後からね田子小学校が後からやったことですよ。やっぱりこども園で小さい子には芝生とかなんとかなれば建物から下が構造になってるそういうところに一気に外へ出た時に土の感触とかがあった方が環境的には良いと思うので、下ががらんだような建物はよしていただきたいなと思いました。

委員長：はい、他に如何でしょうか。

委員：今あるこども園の広さってどれくらいなんですか。

委員長：2つありますけど如何ですか。

事務局長：仁科認定こども園が園舎の延べ床面積が1,210平米ぐらいです。延べ床面積、全部の面積です。全部の部屋の面積を足して、1階2階の面積。建築面積というのは1階の面積になるので延べ床面積で1,210平米ぐらいです。それから伊豆海認定こども園が915平米。建物です。園庭の面積というのが仁科認定こども園が1,285平米。伊豆海認定こども園が1,550平米になります。駐車場の面積というのはちょっとすいません借地をしている関係もありますので、田んぼ1枚ですかね。仁科認定こども園の方がたぶん500平米ぐらいですかね。そこにはほとんど園の先生たちの駐車スペースってイメージになっている感じだと思いますけど。伊豆海の方は500平米より広いと思います。すいません正確な面積ではないんですけど仁科よりも駐車スペースは広いのかと思います。園庭の横に駐車スペースがあるかと思うんですけど、そういった意味では伊豆海の方が広いのかなというふうに思います。

委員：ありがとうございます。

委員長：よろしいですか。他に如何でしょうか。今、■■■■さんからその決め方のところで御提案いただいたんですけども、もし例えばこういう見方もあります。次回までに皆さんの中で候補地を1つ決めて来てもらって、それを会議の中で御説明していただいてたぶん複数出て来ると思んですけども、その中からそのそれでいうと逆に懸念する理由と



いうのを今日みたいなかたちで意見交換をしながらどこで折り合いが付くか、付いたところは付けば候補地として入れられるし、付かない場合は付かなかった場合は最後例えばこういった点数とかで、先に点数をするのではなくて、先に議論をしてどうしようもない時にこちらの方で採点して行くやり方もあるのかなと思いますし、まあ採点しなくてももうなるべく皆さんの議論の中で決めて行きたいということであれば、その代わりその議論の記録を残しておいて次の議会のその通りのかたちで引き続いて、つまり同じ議論をもう一回やらないようにしないといけないのでそこを担保するというでそういうやり方もあるのかなと。話しやすかったり決めやすかったり、あとは皆さんの色んな立場のところで説明しやすいかたちで決められればなと思います。如何でしょうか。たぶんもうちょっと議論した方が良さそうな感じは、その方法も含めてですね、出してもらった方がなんかこのメンバーは良いのかなって気がして来たので、どうしましょう。じゃあ、そうなった時にもう1個提案があった候補地3ですかね、旧洋ランセンター跡地もその安全性という観点から除外した方が良いのではないかという意見がありました。これについて如何でしょうか。やはりまだ候補地として残しておきたいという方がいらっしゃるのであれば残しておきたいなと思いますが。もし、今の説明の中やこれまでの議論の中で洋ランセンターも除外して、もし除外した場合は残りの3つの中でここが良いんじゃないかというのを皆さんに考えていただいて、次回にそれを発表していただきながら練り上げてくというかたちになるかなと思います。洋ランセンターについて如何でしょうか。

委員：先ほど、■■■■さんがおっしゃったようにやはり防犯の面が一番心配で、園長先生がたぶん言われたようにそこはやっぱり外していただきたいということと、その前に中高の話が出た時に盛土がこんなに深くて工事するのにお金がかかるとか、擁壁が玉石で出来てるってことはそれはそれ以上のお金がかかりそうなのでここは外していただきたいなと思います。

委員長：ありがとうございます。改めて外してほしいという意見がありました。如何でしょうか。

委員：危険というのは先ほど伺ってすごく分かってるんですけど、能登のああいうのを見て、もし何かあった時の仮設住宅とか色んなのって西伊豆で広くてなんか出来る所あるかなとか思ったら、すごくあそこ以外に私には全然思い浮かばないぐらいなのでなんか勿体ないなというか、すごくあそこを強化出来たらその後でも色々使えるんじゃないか

など、でもお金がすごくかかるとかそういうのを思うと残念っていうのと両方非常に揺れてます。

委員長：ありがとうございます。そんなようなこども園としてそこにあることでその発展性があるかも知れないということもあります。如何でしょうか。一応残しておきますか。分かりました、じゃあそこはまた次回、その第1候補のところへ出て来るかも知れないということで、一応4は一応残しておきたいと思います。それでは一旦じゃあ採点基準のことについては。これはただ決める時の参考として皆さんに御提出させていただいて、今日新たな情報ですとか土地の情報ですとか、もしこの場所で建てるとしたらこういう形という提示案を共有させていただきましたので、それを超えてですね、じゃあこの4つの中だったらどこが良いと思うかということをして次回、皆さんとの意見を聞きながら絞り込みの作業、なるべく対話や協議をしながら納得出来るところでまとめて行きたいなど、そういったところも丁寧に議論しながら絞り込んで行くかたちで進めさせていただきたいかなと思いますが、そういった進め方でよろしいでしょうか。■■■さん、それは良い？ありがとうございます。

では次回の進め方、日程についてちょっと事務局の方からお願いいたします。

山本係長：では次回の日程ですが、次回の日程を3月1日は皆さん、金曜日ですが皆様御都合は如何でしょうか。

委員：ダメです。

山本係長：ダメです、はい。他に皆さん、御都合の悪い方はいらっしゃいませんでしょうか。

委員：3月1日は教育委員会の主催でここで会議があるんだけどさ。昼も夜も来い？なんて言うかということと今日、会議がここ一週間で4回、5回って回数なんだ。年度末になるからさ、いずれにしてもまた会議は入って来ると思うわけ。

山本係長：では2月22日は？2月21日は？21日も22日も両日ともダメということですか。2月26日は如何でしょうか。

では2月28日は如何でしょう。こうなると全員はなかなか難しいようですので2月28日でちょっと進めさせていただければというふうに思います。またちょっと事前に色々とお伺いしたい点があるかと思えますので。

事務局長：申し訳ございませんが、2月28日を予定させていただきたいと思えます。■■■さんにはまた色々とお聞かせいただければと思います。よろしくお願いします。

委員：ちょっといいですか。せっかく来たのにあんまり早く終わらないでね、もし意見が、皆さんの意見をね、聞いたら半ぐらいまではやったらどうですか。その辺が、そちらの都合もあると思いますけど、まあ終わってもいいですけどね、ちょっと。

委員長：一応8時半を予定として。

委員：最後というか、この諮問を受けて回答を寄せるのが私の感覚としては年度内なのかなと思ってたんですけども、なるべく早くということと言われていて、このペースで行って果たしてまとまるのかとちょっと心配になっているんですけどもどうでしょうか、その辺は。

事務局長：■■■■さんがおっしゃるようになりますね、今、皆様の任期が今年度末までになっていますので、なるべくそこまで結論を出したいというのが事務局の考えです。あまりズルズル行っても仕方ないですが、あまり簡単に決めてしまってもよろしくない問題だと思いますので、色々ご議論いただいて10人が10人、全員が全員同じ意見になることはまずあり得ないと思いますので、ですのでこういった採点シート的なもので点数付けて出したらどうかというような提案をさせていただきました。逆に言えば、皆さん1人1人がどこどこって書いたりですね、最終的には書いて投票してもらおうとかという方法もあるかと思います。なかなか御意見の中でいうと言にくい部分というのもあるかと思いますが、そういったことも出来るかと思います。最終的に1つというのが当然あるわけですが、今までも色んな経験上というか結果上ですね、2番目3番目という提案というか、順位付けというの後ろに持っていたいというのが本音にあります。例えば皆さんが1案を1番の提案していただいた中で、また議会とかで議論いただいた中で、いや、そうじゃなくてこうだ。ああだ。となって来た時にじゃあ2番目はどこだったのかというような後ろで説明出来るようなデータというのがありますので、4候補地残るのか3候補地残るのかという中で、皆さんの気持ちの中でそういった順位付けを付けていただいて投票していただくとかという方法もあるのかなと思いますが。皆さんの考え方ですね、せっかくの機会ですから今、■■■■さんがおっしゃったようにそういった議論を深めてやっていただけるとありがたいなというふうに思っています。

委員長：あと10分ぐらいありますけど、皆さん、どれが良いですかという感じで聞きますか。じゃあもし園長先生たちからあれば、特に園としてお願いします。

山本園長：園としてというかなんですけど、選ばれた方たちなのでごめんなさい、先ほど■■■■さんが言ったようにもっとちょっと意見を出していただ

きたいなということと、土地を決めて行くに当たって「ここが悪いからこれがダメなんだよな。」というふうなのを決めて行かなければいけないんですけれども、「ここにあったら、こういうことが出来るんじゃないか。」とか「ここにあれば子どもたちがこうなんじゃないか。先生たちが全部・・・子どもと先生たちが安全なんじゃないだろうか。」とかというそういう面のもうちょっと意見を出していただけると良いかなというふうに思いました。

委員長：齋藤先生お願いします。

齋藤園長：やはり元旦の能登半島の地震を受けると本当に、今、仁科認定こども園は逃げる場所というのは本当に屋上の避難地しか今は無い状況です。その後、やはりその水が引いて避難をすとか引き渡しはきっと出来ない状況なのかなって思うと、寒さや暑さ、風、そのあたりにおいてあの小さな子どもたちの命を守るのにどういうふうにして行ったら良いのかな。今までは引き渡しをするように考えていましたけど、ちょっとあの道路の状況等を見ると引き渡しはすぐには出来ないんだろうなというふうに思います。ですので、逃げるだけじゃなくてそこで少し子どもたちが過ごせるその辺も一緒に考えて行けたら良いのかなと思うので、本当にたくさんの御意見を私の方も聞きたいと思うのでぜひ色々な意見を教えていただけたらありがたいなというふうに思います。よろしくお願いします。

委員：すいません、今、私が迷ってるっていうかね、そういうことをちゃんとお話ししたいと思います。環境的には西伊豆中跡地の方が私はね、周りとかを考えると良いと思ってるんですけど、浸水区域内だもんでちょっと困るなっていうこと。それから田子小が浸水区域外なので一番良いかなと思ってるんですけど、やっぱりこうなんですかね、道路が狭いとか色々あるのでそこも迷ってます。安良里の方も建てられそうなんですけど、ほとんどあちらの子どもさんが居ない、少ないっていうことにね、大沢里とかあっちの方から小さい子どもを連れて長い時間かけて行くのは困るなと大変だなと思ってます。旧洋ラン跡地については広いんだけど色々な危険な面もあるので離れているってことで環境的にもあまり良くないなということで、色々今、迷ってるんですけど、じゃあ園長さん方でいう避難しなくて良い場所がっていう御意見ですが、それで言うと田子小かなって思ってるんですけどね。だけど色々のことを考えてまだ迷っていますっていうようなことで、皆さんもそういう意見をお願いします。

委員長：せっかくですので如何でしょうか。迷ってるってことでも全然構いません。こことここがこうだけとか。

委員：私は子どもたちの命、先生たちの命が確実に助かる場所が第一だと思って、子どもたちを助けるために先生が犠牲になっては絶対ダメだと思ってます。やっぱりそのさっき言ったように、助かった子どもたちの面倒を見るのも先生たちだし、今、能登の地震でもやってるけど、その避難の場所で色んなことをやって面倒見てる人たちも被災者だっていうふうに言われているので、やっぱり先生たちもそういうふうにあった時には被災者なんです。なので、何かあった時のあとの面倒は先生たちにはお願いしないと、例えば寸断されて仁科・・・例えばね、安良里の所に園が出来たとしてトンネルが崩れました、孤立しましたといった時には長いこと例えば先生たちのお世話にならなきゃいけない可能性も出て来ますよね。ただでもどこに居ても、どういう状況でその孤立したりとかする不便な思いをするかは分からないし、防犯面もそうですけどここにしようって決めた時には安全性を優先して、決めた時にはそこで出来る例えば防犯対策、そこで出来る防災対策。今からじゃあどこでどう防災対策が出来るかっていうのを考え始めたら決め損ねると思うんですよね。防犯も心配だったら別に物が建ってから防犯カメラ付ければいいし、それでも心配だったら例えば近隣の人もしくはOBの人たちにちょっと時間がある時に見に来てもらうじゃないけど、いくらでも手伝ってくれる人とか居ると思います。しかもその周辺住民に理解されるかどうかとかありますけど、理解されるかどうかってそこに行ってみないと分からない、建ててみないと分からないし、子どもたちが来てみないと分からないし、そこに建ててみて初めて例えば周りの人たちを園に呼んで例えば餅つきをやってみたりだとか、お飾り作りをやってみたりだとか周りの人たちを巻き込んで上手く園児たちと触れ合いをさせることによって、もしかしたら地域も活性化するかも知れないし、理解されてなかった人たちにも理解されるかも知れないし、西伊豆町ってわりとその小中一貫校を建てる時もそうだったんですけど、その年配の方と子育て世代の人たちの間の溝ってなかなかその今、コロナもあって子どもたちと触れ合う機会ってのがすごいもう閉ざされちゃっていて、なんか地域密着型ではなくなってる場所もすごいあると思うので、建ってから出来てから安全性を優先して、出来てから周りの人たちだったりとか地域に馴染んだことをやる工夫をその後から立て直してもいくらでも私は出来るんじゃないかなっていうふうには考えています。そのためには周りの人の協力はすごい必要だと思うんですけど、声を掛けたりだとか協力を得るようにすれば、私も全然手伝えるし、そうしてくれる人たちはいっぱい居るんじゃないかなって思います。以上です。

委員：■■■さんの意見を大賛成で私はちょっと夢のような話なんですけども、もうばばあになりましたのでだんだん自分で色んなことが出来なくなるから、足腰立たなくて迷惑かけちゃうのは嫌ですけど、出来ればそういう子どもたちと触れ合いたいし、そのそういう何かお役に立てることがあったらそういうのをやりたいなって、そういうのを保育園に出来たらそういうのを提案してみようかなって思ったところです。

委員長：何かあるでしょうか。せっかくなので。

委員：すいません、ちょっとあまりまとまりのない意見になるかも知れないんですけども、私は今のところ、私ほんとに個人ですけど安良里が一番良いのかなって自分の中で見ていて、ちょっと家が近いから言うわけじゃないんですけど、やっぱり津波の面とかから考えても一番安全なのではないかと思います。いろんな意見があるかと思いますが、やっぱり子どもたち先生たちの命、安全を第一に考えて行きたいなと思います。以上です。

委員長：他に如何でしょうか。

委員：私もちょっと色々ね、皆様の意見を聞いてたんですけどまず生き残ることが一番じゃないのって思います。その後のことを考えても死んでしまったら何も出来ません。子どもが園地で遊んでて地震が来た、もうほんと数分で津波が来ます。その時に1階はあれで2階に教室を作れば良いという話もありますけど、そこまで逃げる時間があるでしょうか。実際、ほとんどないんじゃないかと思います。だからとにかく生き残ること、生き残れば後は何とかかなると思いますので。それであると防災にしろ何にしろ、そのことは設計する時に色々考えて行けば良いのかと思います。まず私はずっと聞いてて生き残る所に、津波があって生き残れる所に作ってもらいたいと思います。以上です。

委員長：ありがとうございます。他に如何でしょうか。

委員：ちょっとこのシートにもありますけれども、徒歩通園する子が居ないとかいうふうに言ったけど、それはちょっと考え方が違うんじゃないかなと思います。要はその園児の安全対策第一だと思います。いずれにしてもこういう津波等から避難しないで済む施設。例えば石巻の大川小もあそこも逃げる必要でなければ110人の子どもと教師を亡くさないで済んだはずで。幼稚園の先生方が何かあった時にせいぜい十分に見てくれるのは1人だと思います。3人4人の子どもをとてもしゃないけど見られないと思います。そういったことを考えますと、この通園する子が居ないからここはダメだとか、じゃあ通園する子が居るからここは安全なのかってそれはちょっと考え方が

違うんじゃないかなと思います。まず子どもの安全第一っていう考えで行きたいと思います。

委員長：ありがとうございます。せっかくなのでいかがですか。

委員：自分も今、年長児に子供が居て先生に見てもらっていますけども、やっぱり先生たちがすごく必死に子どもたちを守ってくれているのがよく分かっているので、やはり保育をする場所というのがとっても安全面を考えて決めて行きたいなというふうに思っています。当然、津波もそうですけれども、私はトイレトレーラーに乗って石川県まで行ってきました。やっぱりすごい地震が強いと土砂災害も当然起きますので、そういった所も多少見てきましたけれどもそういった危険性がない所、なるべく危険性が少ない所そういった所を選んで行きたいなと思います。さっき、〇〇さんがおっしゃってましたけども、後からというより生きることが大事でその後のことを考えるには、まず生きる必要があるということが非常に大事なかなと思っています。

委員長：ありがとうございます。

委員：旧西伊豆中学校跡辺りが良いかなと思って考えてます。

委員長：その理由は。

委員：安全性とかって。

委員長：ありがとうございます。それぞれ皆さんの意見を聞きながらちょっとだけ大学っぽい話をすると、今まで政治学っていうと多数決で決められるというイメージがあるかと思います。これを集計民主主義といわれています。その時には定義とか数と利益が関係するので、その数で解決して行こうという考え方が集計民主主義。一方で最近注目されているのは熟議民主主義。まさにそういった意見のあるところには必ず理由がある、その理由のところを問い詰めて行くとその合意形成を図る結節点があるのではないかな。当然、みんなが同じことになるとは限らないんだけど、その理由をお互い聞いたり話したりする中で、じゃあその自分だったり、その地域だったりの…。ベストはないかも知れないけどベターは何なのか。その時には、何のためにその議論を行うのかってその目的のところを重視して行こう、それが熟議民主主義の考え方なんですけれども、今日まさにその熟議民主主義の実践がですね、これで感じられたかなと思います。ただ、まあこの中でやはりそれぞれまた候補地という点では、たぶんさっき皆さんそれぞれあるかなと思うんですが、今みたいにその理由をですね、お出ししてただけの中で、じゃあ「ここだったらこういう解決が出来る。」「それは後からでも出来る。」というようなことをまた意見として出していただきながら、ではその西伊豆町の子のこども園にとって一番最適現

時点での一番最適などというのはどんなものかっていうのをですね、ぜひこの委員会の中でまとめて行けるようなかたちで〇〇したいなと思いますし、そういったことをこの先の議会や最終的な決定権の人たちにも情報として伝えて、意見の総意としてまとめて行くということがこれからの西伊豆町のこれからの色々な教育施設を決めていく大きなポイントになるかなと思いますので、ぜひ次回ですね、改めてそういった理由のところですね、や思いのところ、そこをぜひ皆さんと発出いただきながら結節点を定めていきたいなと思います。ちょっと時間は空きますけれども、なんとか年度内には。ただ一方で出来る限り合意形成を図れるようなかたちで意見を取り合っていたきたいなと思いますので、ちょっとそんな当たりのところを少しイメージしながら次回臨んでいただけたらなと思います。なんか、追加とかで如何でしょうか。では、進行を事務局の方にお返しいたします。

事務局長：すいません、色々な皆さんの御意見をお聞かせいただきましてありがとうございます。次回に向けてですね、また持ち帰っていただきまして、そういった候補地の提案理由というのを整理していただいて、また活発な御意見をお聞かせいただければと思います。ありがとうございます。それでは、最後に閉会を副委員長からよろしく願います。

副委員長：夜間に御苦勞様です。局長、通知はちゃんともっと前に出すような格好でやらないとみんな用事があったり、確実に開催するかどうか分からないもんね。次回は2月28日ですから、もしやれるようでしたら通知も早めに出せれるような格好でお願いします。それではご苦勞さまでした。ありがとうございました。